

丹波

Tanba
Sasayama
"STYLE"

篠山

あえてよかった

T a n b a S a s a y a m a

丹波篠山



兵庫県篠山市

篠山城下町

篠山は周囲を山に囲まれた盆地の中に、城下町の雰囲気や歴史を今に伝える歴史的な町並みが残っています。情緒あふれる城下町をあるきながら、篠山の歴史・文化・そしてお買物を楽しんでください。



かすがじんじやのうぶたい 春日神社能舞台

1861年、時の藩主青山忠良に建立寄進された能舞台。建設当時、箱根より西では最も立派なものだといわれた舞台です。200余年の歳月を経た現在も、元旦午前0時過ぎに行われる「翁」、春に行われる「春日能」の年2回の能会や狂言が奉納され、雅かな芸術文化を今に伝えています。

所 黒岡75 問 079-552-3380 (篠山観光案内所)



れきしびじゅつかん 歴史美術館

明治24年に建てられた日本最古の木造裁判所を美術館に改修。館内には、古くから美術工芸に優れていた篠山ならではの名品の数々が展示されています。

所 呉服町53 料 大人300円、高校・大学生200円、小・中学生100円 (団体30名以上各50円引) ※特別展は、別料金になります。休 毎週月曜日 (祝祭日は開館、翌日休館) 12月25日～翌年1月1日 問 079-552-0601



ぶけやしきあんまけしりょうかん 武家屋敷安間家史料館

安間家は篠山藩主青山氏の家臣の一般的な徒士住宅だったもの。内部には、安間家で使用されていた食器や家具などがあり、当時の暮らしがうかがえます。

所 西新町95 料 大人200円、高校・大学生100円、小・中学校50円 休 毎週月曜日 (祝祭日は開館、翌日休館) 12月25日～翌年1月1日 問 079-552-6933



たいしょうろまんかん 大正ロマン館

丹波篠山のお土産がそろう売店とレストランのある大正ロマン館は、大正12年に建てられた旧篠山町役場を保存利用した大正ロマネスクを感じる建物です。

所 北新町97 休 12月29日～翌年1月1日 問 079-552-6668



ささやまじょうおおしよいん 篠山城大書院

1609年、徳川家康は大阪城攻略の拠点として「笹山」という小高い丘に城を築かせました。わずか9か月余りで完成したその城が篠山城です。昭和19年の火災で焼失するまで335年間篠山城二の丸にあった大書院を約半世紀ぶりに復元しました。古式の建築様式や荘厳な装飾も全て往時の雰囲気を再現されています。

所 北新町2-3 料 大人400円、高校・大学生200円、小・中学生100円 (団体30名以上は、大人300円、高校・大学生150円、小・中学生50円) ※天守台・本丸・二の丸は無料開放 休 毎週月曜日 (祝祭日は開館、翌日休館) 12月25日～翌年1月1日 問 079-552-4500

あおやまれきしむら 青山歴史村

旧篠山藩主青山家の別邸でした。長屋門をはじめ、全国的にも珍しい漢学書関係の版木や、ねずみ草紙絵巻など、江戸期の歴史と文化の史料が数多く展示されています。

所 北新町48 料 大人300円、高校・大学生200円、小・中学生100円 (団体30名以上各50円引) 休 毎週月曜日 (祝祭日は開館、翌日休館) 12月25日～翌年1月1日 問 079-552-0056



おうじやまこうえん
王地山公園

篠山城跡の東方に位置する小高い丘「王地山」。平安遷都を前に、王城候補地の一つに選ばれたことから「王地山」と名付けられたといわれています。春は桜、秋は「もみじ谷」とも呼ばれており、公園全体で紅葉を楽しむことができます。



おうじやま いなり
王地山まけきらい稲荷

篠山の王地山稲荷(地元では「おおじやま」と呼ぶ)にある、王地山平左衛門という江戸時代の力士の名をつけた祠を「まけきらい稲荷」と言います。近年その名や由来にあやかって受験生が参拝に訪れます。

所 河原町92 問 079-552-0655



おうじやまやき・おうじやまとうきしょ
王地山焼・王地山陶器所

王地山焼は、江戸時代末期の文政年間、時の藩主青山忠裕が、王地山の地を選び、京都から名工欽古堂亀祐を招いて指導させた藩窯です。一度は途絶えてしまいましたが、昭和63年に120年もの歳月を経て、その名も同じ「王地山陶器所」として復興しました。

所 河原町431 料 見学無料 休 毎週火曜日(祝祭日は開館)・12月29日~1月3日
問 079-552-5888



でんとうてきけんぞうぶつぐんほぞんちく
伝統的建造物群保存地区

伝統的建造物群保存地区(伝建地区)とは、町並みを構成している要素を伝統的な建築物だけでなく、門や塀などの工作物を加えた群として捉え、地区指定に際してはさらに周囲の環境も含めた面的な保存地区として指定するものです。

おかちまちぶけやしきぐん
御徒士町武家屋敷群

御徒士町は、江戸時代に藩主の警護にあたった下級武士たちが屋敷を構えた場所であり、今も城の西側の通りに10数棟の屋敷が立ち並んでいます。堀ばたや馬出し周辺の武家屋敷とともに静かな城下町の一角を形成し、当時の面影を残しています。

所 西新町 問 079-552-3380(篠山観光案内所)



かわらまちつまいりしょうかくん
河原町妻入商家群

間口が狭く奥行きが長い妻入商家が並ぶ町並は、国の重要伝統的建造物群保存地区で、千本格子や荒格子、袖壁、うだつなどが往時の城下町の姿を今に伝えます。

所 河原町 問 079-552-3380(篠山観光案内所)



丹波焼の里



日本六古窯 丹波焼

丹波焼は、瀬戸、常滑(とこなめ)、信楽(しがらき)、備前、越前とともに日本六古窯の一つに数えられ、その発祥は平安時代末期から鎌倉時代のはじめといわれています。桃山時代までは「穴窯」が使用されていましたが、慶長16(1611)年ごろ朝鮮式半地上の「登り窯」が導入され、同時期に取り入れられた蹴りロクロ(日本では珍しい丹波焼独特の左回転ロクロ)とともに、伝統技術を今日に受け継いでいます。昭和53(1978)年「丹波立杭焼」の名称で国の伝統的工芸品指定を受けています。約60軒ある窯元では、ギャラリー巡りや陶芸体験を楽しむことができます。

丹波伝統工芸公園 立杭陶の郷

「古丹波」の名品や現代作家の作品を展示し、丹波焼の歴史や技術、魅力に触れることができます。陶芸教室で自分だけのオリジナル作品づくりに挑戦したり、まるでギャラリーのような「窯元横丁」では窯元すべての作品を買うことができます。

所 今田町上立杭3 料 高校生以上200円、団体(20名以上)160円、小・中学生50円(団体割引なし) 休 12月29日から翌年1月3日 問 079-597-2034



八〇〇年以上にわたり窯の火を絶やすことなく、今も約六〇の窯元が生業を営んでいます。里の中を歩くと、丹波焼と結びついた風景をあちこちに見ることができ、日常生活の中にある窯場の風景は、懐かしくも新しい、まさに生きている博物館です。

兵庫陶芸美術館

丹波焼をはじめ三田焼、東山焼、出石焼、珉平焼など兵庫県内の陶磁器コレクションのほか、日本および海外の近・現代陶芸作品を收藏、また幅広く国内外の陶芸作品を紹介する特別展を開催しています。レストランやティーサロン、茶室でゆっくり休むこともできます。

所 今田町上立杭4 料 観覧料は、展覧会ごとに異なります。休 毎週月曜日(月曜日が祝休日の場合は翌平日)12月31日と翌年1月1日 問 079-597-3961





たんばぐり
丹波栗

粒が大きくて甘みにすぐれた丹波栗は、数百といわれる栗の品種の中でもトップクラスの味。栗ごはん、上品な甘みの栗菓子、ちょっと珍しい栗酒など、楽しみ方もいろいろです。消化、吸収の良い健康食品です。



たんばささやまやまのいも
丹波篠山山の芋

ごつごつした外観とは対照的に、すりおろすと純白できめ細やかな粘りけがあります。山かけ、ととろ汁、ととろろで飯に最適です。するするっとおなかに入って消化が良く、強壮、強精、疲労回復、高血圧防止など体にもうれしいごちそうです。



たんばささやまぐろえだまめ
丹波篠山黒枝豆

丹波篠山黒枝豆は、黒豆がサヤの中で熟成しきって、黒色になる前の青いサヤの状態のものです。大粒で糖度が高く、独特のこくと風味があり、枝豆の最高級品です。



たんばささやまぐろまめ
丹波篠山黒豆

大粒でほんのり甘く、色つやも美しい黒豆の最高級品。「畑の肉」と呼ばれるだけあって、栄養価もバツグンです。お正月の煮豆以外にも枝豆、味噌、酒、豆腐など、人気商品がいっぱい。年間を通じて篠山市内では、黒豆オリジナル料理を味わうことができます。



標高二〇〇〜三〇〇mの篠山盆地に開け、盆地特有の気候から昼夜の温度差が大きく、丹波霧といわれる深い霧が発生します。この丹波霧と豊かな土壌のおかげで、篠山に多くの豊かな農産物をもたらしてくれています。

たんばささやままい
丹波篠山米

盆地特有の昼夜の寒暖差が大きいことや、清らかな水が豊かにあることなどから、コシヒカリとしては、「東の魚沼、西の丹波篠山」と、その美味しさが高く評価されています。



なべ
ぼたん鍋

独特の地形と豊かな山の幸にはぐまれた篠山の猪肉は、煮込むほど柔らかくなるのが特徴。味噌仕立てのぼたん鍋は体の芯からあたたまります。



たんぼちゃ
丹波茶

丹波とお茶のつきあいは、かれこれ1000余年。すっきりとした渋みが、丹波の銘菓にもピッタリです。



丹波篠山を食す

盆地特有の気候、澄んだ空気と水、そこに住む我々の生活、そのすべてが相まって篠山ではたくさんの美味しいものがあります。一度食べたなら、飲んだら忘れられない、丹波篠山のうまいもんを是非堪能ください。

たんぼじざけ
丹波地酒

多紀連山から流れる銘水と、肥沃な大地で育った丹波篠山米を使用し、名声高い丹波杜氏が丹精込めて作り上げたお酒です。正統派から特産品を使った珍しいお酒まで種類が豊富。お土産に、贈答品に喜ばれる品々です。



たんぼとうじ
丹波杜氏

冬の農閑期の副業として、灘五郷、池田、伊丹へ酒造出稼ぎに出たのが丹波杜氏のはじまりです。「日本一の酒をつくる」と言われるほど名声が高く、今なお日本の酒造を支えています。



たんぼとうじしゅぞうきねんかん
丹波杜氏酒造記念館

館内では、丹波杜氏の由緒や古くからの道具・資料により、昔ながらの手造りでの酒の醸造が9つの過程に分けて興味深く解説してあります。



所 東新町1-5 料 協力金100円 休 12月～翌年3月の土日祝日、12月28日～翌年1月4日
問 079-552-0003





やくしおんせん
こんだ薬師温泉
さと
ぬくもりの郷

地下1300mから湧き出る効能豊かなたつぷりのお湯を使ったかけ流しのお風呂です。丹波焼を湯船や床に使用した丹波焼陶板風呂と、丹波特産の丹波石をふんだんに使った丹波石岩風呂の、2種類の風呂があり、男湯・女湯が週毎に入れ替わります。広々とした大浴場でごゆっくりお過ごしください。

所 今田町今田新田21-10 料 中学生以上700円、小学生300円、幼児無料 休 火曜日
問 079-590-3377



温泉 & お宿

くさやまおんせんかんのんゆ
草山温泉 観音湯

観音湯は多紀連山の麓、丹波の自然と山の幸に恵まれた草山盆地にある日帰り温泉施設です。温泉は寛永年間からの歴史を持つと言われる茶褐色の濁り湯で海水の1.5倍の塩分を含む強塩泉です。四季折々の自然を満喫できる露天風呂やサウナが楽しめます。

所 遠方石ノ堂41-1 料 大人(中学生以上)700円、小人(小学生)300円 休 毎週木曜日(木曜日が祝日の場合と、お盆・年末年始は営業) 問 079-592-0211



かこぼろおんせん
箆坊温泉

武庫川上流の支流、羽束川源流付近にあり、県立猪名川渓谷自然公園の山峡にひっそりと湧く温泉地で、約800年前平家の落人が隠棲したともいわれる場所です。渓谷沿いに3軒の旅館が点在。周囲は暗く、星が良く見える環境なので、ホテルや流星を見る穴場スポットでもあります。泉質は含炭酸食塩水。

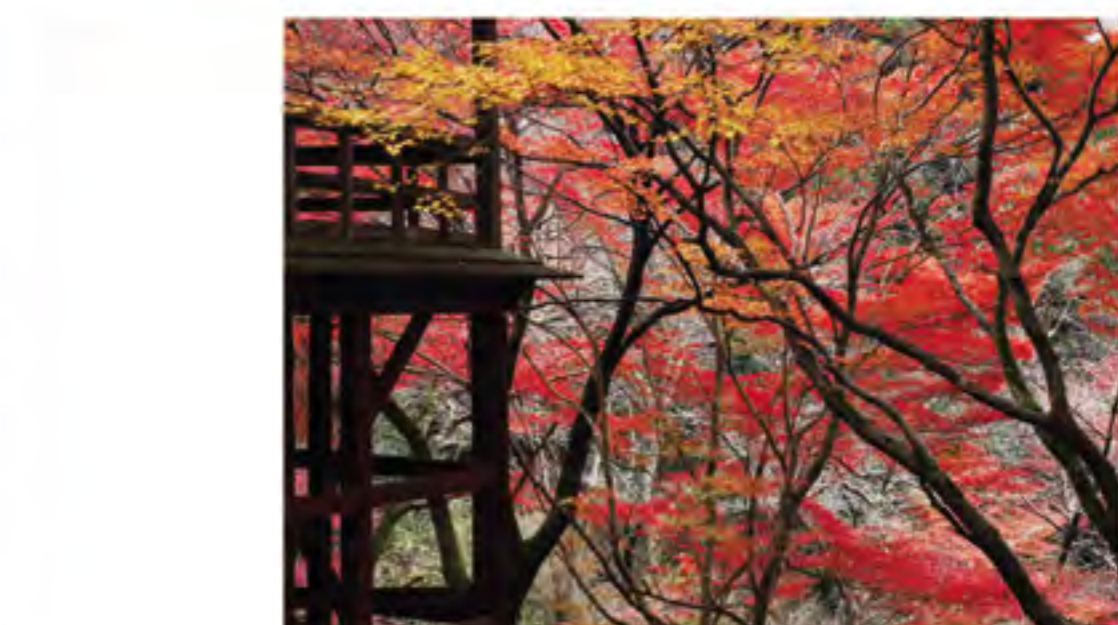
所 後川新田 問 079-552-3380(篠山観光案内所)



おうじやまこうえん そう
王地山公園 ささやま荘

丹波篠山の町並みを見渡せる絶景の地、王地山に建つ宿泊施設です。天然温泉のまけきらいの湯も魅力の一つ。黒瓦の屋根と篠山川を背景に春は桜、秋は紅葉が彩りをそえます。自然が作り上げた最上の空間と真心のこもったおもてなしで情緒あふれるひとときをどうぞ。

所 河原町474-1 料 お問い合わせください。 問 079-552-1127



王地山からの景色

お宿一覧

区分	宿泊施設名	住所	TEL
旅館	高砂	二階町6	079-552-2158
旅館	湊陽楼	二階町79	079-552-0021
旅館	丹波篠山 近又	二階町81	079-552-2191
ホテル	篠山観光ホテル	北新町123	079-552-5200
旅館	料理旅館 池富	立町125	079-552-0064
旅館	玉川楼	呉服町32	079-554-2266
ホテル	王地山公園 ささやま荘	河原町474-1	079-552-1127
旅館	旅館たにだ	乾新町79	079-552-0568
旅館	したぼう旅館	東吹889-2	079-594-1039
民宿	ロッヂ S.P.H	東吹956-1	079-594-2093
旅館	兵庫県立 新たんば荘	郡家451-4	079-552-3111
ビジネスホテル	ささやまホロンピアホテル	中野76-4	079-594-2611
旅館	ユニットピア ささやま	矢代231-1	079-552-5222
民宿	ハイマート佐仲	小坂459-3	079-593-0888
旅館	大谷にしき荘	遠方122-1	079-592-0045
旅館	VIP アルパインローズ・ビレッジ	遠方16-3	079-590-7615
B&B*	J,s hill GARDEN	本郷632	079-590-7317
旅館	万為楼	日置150	079-556-2021
ゲストハウス	古民家ゲストハウスやなぎ	福住391	079-506-0916
旅館	丹波ささ山 箆坊 溪山荘	後川新田222	079-556-2271
民宿旅館	浪花館	後川新田71	079-556-3148
民宿	民宿 湯の壺	後川新田79	079-556-3685
セミナーハウス	天空農園	後川新田原283	079-506-1124
コテージ	丹波篠山 溪谷の森公園	後川上1170	079-555-2323
古民家宿	集落丸山	丸山30	079-552-5770

*B&B: ベッド&ブレイクファースト

丹波篠山の一年は、春の桜に始まり、夏の涼、秋の味覚と紅葉、冬のボタン鍋と、名物に事欠くことはありません。お越しの際は、心休まる宿泊施設をご利用いただき、温泉で旅の疲れを癒し、篠山の旅情を堪能ください。

1 冬の味覚 いのしし祭

- ◆開催: 1月下旬
- ◆場所: 篠山城跡周辺(篠山市北新町)
- ◆問合せ: 篠山市商工会
- ◆TEL: 079-552-0758



6 大国寺と丹波茶まつり

- ◆開催: 6月上旬
- ◆場所: 大国寺と茶の里会館周辺(篠山市味間奥)
- ◆問合せ: 篠山市役所
- ◆TEL: 079-552-1111



3 篠山ABCマラソン大会

- ◆開催: 3月上旬
- ◆場所: コース: 篠山市内全域、スタート・ゴール: 篠山城跡三の丸広場(篠山市北新町)
- ◆問合せ: 篠山ABCマラソン大会事務局
- ◆TEL: 079-552-1111



8 デカンショ祭

- ◆開催: 8月15・16日
- ◆場所: 篠山城跡三の丸広場周辺(篠山市北新町)
- ◆問合せ: 篠山市商工会
- ◆TEL: 079-552-0758



4 さくらまつり

- ◆開催: 4月上旬
- ◆場所: 篠山城跡周辺(篠山市北新町)
- ◆問合せ: 丹波篠山観光協会
- ◆TEL: 079-506-1535



10 味まつり

- ◆開催: 10月中旬
- ◆場所: 篠山城跡周辺(篠山市北新町)
- ◆問合せ: 篠山市役所
- ◆TEL: 079-552-1111



4 にしきシャクナゲまつり

- ◆開催: 4月下旬
- ◆場所: 黒豆の館周辺とシャクナゲ公園(篠山市下板井)
- ◆問合せ: 黒豆の館
- ◆TEL: 079-590-8077



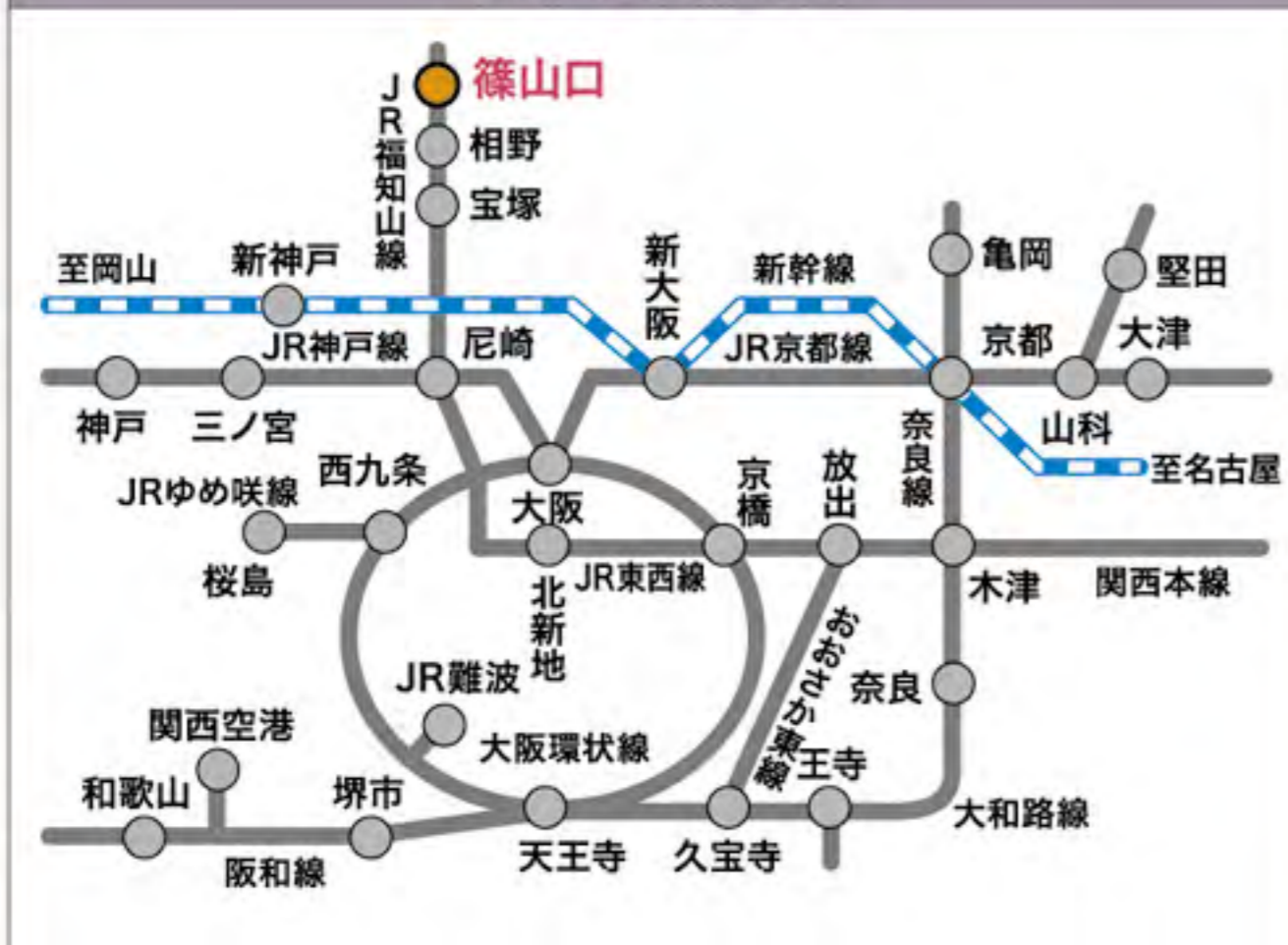
10 丹波焼陶器まつりと物産市

- ◆開催: 10月中旬
- ◆場所: 立杭陶の郷、篠山市今田支所周辺、兵庫陶芸美術館、各窯元(篠山市今田町内)
- ◆問合せ: 立杭陶の郷(すえのさと)
- ◆TEL: 079-597-2034



ACCESS

電車・バスの場合



- 大阪→JR大阪駅→JR篠山口駅(約1時間)
- 神戸→JR三ノ宮駅→JR尼崎駅→JR篠山口駅(約1時間20分)
- JR篠山口駅から市街地(篠山城跡・城下町)までは、「篠山営業所」方面行き神姫グリーンバスで約15分

【観光ボランティアガイド】

ディスカバーささやま: TEL 079-552-3380
 丹波焼の郷 窯元路地歩き: TEL 079-597-2034
 福住町並み案内人: TEL 079-506-3313

【問い合わせ】

篠山観光案内所: TEL 079-552-3380
 篠山口駅観光案内所: TEL 079-590-2060
 丹波篠山観光協会: TEL 079-506-1535
 篠山市役所: TEL 079-552-1111

【ホームページ情報】

篠山市ホームページ <http://www.city.sasayama.hyogo.jp/>
 丹波篠山観光協会ホームページ <http://tourism.sasayama.jp/association/>

車の場合



- 大阪→阪神高速道路/池田IC→中国自動車道/吉川JCT→舞鶴若狭自動車道/丹南篠山口IC(約50分)
- 神戸(三ノ宮)→新神戸トンネル→阪神高速北神戸線/箕谷IC→六甲北有料道路→中国自動車道/神戸三田IC→舞鶴若狭自動車道/丹南篠山口IC(約90分)
- 京都→国道9号線→京都縦貫自動車道/沓掛IC→千代川IC/国道372号線(約60分)

まるいのプロフィール

篠山市マスコットキャラクター「まるいの」
 いのししのお侍。10歳の男の子です。
 皆様の篠山市へのお越しをお待ちしています。



<http://tourism.sasayama.jp/> 丹波篠山

検索